

## 誓いの言葉

キャンパスに新緑の薫りも清々しい本日、私を含めた新入生の皆様は、夢と希望に胸を膨らませてここにおられると思います。

僭越ではございますが、新入生を代表いたしまして、「誓いの言葉」を述べさせていただきます。

私は、現在、民生委員・児童委員として活動をしております。民生委員の活動と聞くと、『高齢者に対する支援』や『経済的に困窮した世帯の相談役』を思い浮かべる方がほとんどだと思います。しかし、民生委員は全員児童委員も兼ね、地域によって活動内容は異なりますが、赤ちゃん訪問や子育て支援、昨今ニュースでも度々取り上げられる児童虐待の問題にも関与いたします。また、地域において町内会と連携を図り、コミュニティのニーズを把握し、関係機関へ橋渡しをするのも重要な役目です。加えて防犯・防災の取り組みへの協力もいたしております。

核家族化、少子高齢化が進み、地域の連帯感が薄れる中では、生活困窮、孤立と孤独、虐待など様々な課題が潜在化し、深刻さを増しています。その一方で、その課題を見つける技術や、対応力の無さにジレンマを覚えています。ある課題に遭遇した時のことですが、問題解決のために行政担当窓口や専門職に相談し、連携を図ろうとしました。しかし、専門職の方が話す専門用語を正しく理解することができず、連携どころか、自分自身の知識不足を改めて認識させられました。制度やサービス、またメンタルな部分での寄り添い方などは、一人ひとり異なり、様々なケースに対処するためには、それだけの知識と経験が必要です。「知識が無かったために満足な支援ができなかった」という苦い経験が、「福祉について基本から学ぼう」という思いを起こさせたのです。

今回、大学で学ぶ機会を与えられたことに感謝し、福祉の基礎をしっかりと学び、地域コミュニティの問題解決に向けた役割を担えるよう、広く深く考える力を身につけたいと思います。

以上を、私の誓いの言葉といたします。

2013年5月18日

日本福祉大学通信教育部

新入生代表 仲野勝子